

「地域農業を盛り上げていきたい
～周桑メロンを消費者に広めたい～」



櫛部 朋哉 (23 歳) 新規学卒
(西条市)

1 就農の動機・理由

親が農業をしており、自分でも農業したいと思っていた。親元就農であるが、新規部門で農業開始。作目は青ネギ、メロンである。

農業大学の卒業と同時に農業を始めた。

○主要農業機械

トラクター 21 p s 1 台
トラクター 28 p s 1 台
管理機 6 p s 1 台
動力噴霧機 1 台
軽トラック 1 台
軽箱バン 1 台

2 農業経営の概要

○経営の展開

項目	就農時の経営 (平成 30 年)	現在の経営 (令和 3 年)	将来の経営 (令和 6 年)
労働力	男 1 人(本人)	男 1 人(本人)	男 1 人(本人)
経営耕地	水田 70 a 畑 17 a	水田 70 a 畑 17 a	水田 100 a 畑 17 a
経営内容	青ネギ 80 a	施設青ネギ 31 a 露地青ネギ 90 a メロン 7 a	施設青ネギ 31 a 露地青ネギ 100 a メロン 7 a

○農業用施設

ビニールハウス 20a
農業用倉庫 1 棟

3 あしあと

(1) 就農までの主な経歴

出身地 愛媛県西条市
就農研修歴
愛媛県立農業大学校
(H28. 4. 1～30. 3. 31)
就農年月 平成 30 年 4 月

(2) 就農時の思い

就農当初は、メロンだけにしようと思っていたが、地元の先輩農家から青ネギの栽培と販売先を紹介され始めることにした。

メロンや青ネギの栽培当初は、販売先をどうするか悩んでいたが、先輩の紹介や指導があったので、直ぐに解決することができた。

4 就農時の取り組み

(1) 技術の習得

青ネギは、先輩農家から技術的指導を受けながらメロンは、元 J A 指導員 O B から直接指導をうけている。

(2) 資金の準備
農業次世代人材投資事業（準備型）
（経営開始型）を活用している。また、
青年等就農資金も活用している。

(3) 農地・住宅の確保
農地は親の一部を継承、近隣農家から譲り受け利用権の設定をしている。
住宅は、両親とともに生活している。

(4) その他苦労したこと
雇用の確保で悩んでいたが、現在同級生が手伝ってくれるようになった。

5 農業経営の特徴

施設と露地による青ネギの生産、メロンの規模拡大を目指す。

青ネギの価格を注視しながら、栽培面積の増減を図っている。

今年の春以降は、青ネギ施設の一部をメロンに変更していき、安定した収入を目指していく。

メロンは、親の知り合いや近隣の方に直接販売をおこなっていく。

青ネギは、市場や周ちゃん広場に販売しており、直売所では、自分の名前を認知してもらえるようにいい商品を出していく。

6 これからの夢

今後、5年後以降は、青ネギ、メロンの規模拡大を目指すとともに、親の経営（水稲、里芋）を引き継いでいく。

いずれ、法人化を目指していきたい。

7 成功したキーポイント

先輩農家、親の指導の下、順調に栽培を始めることができた。

今後は、周桑メロンとして消費者に美味しいものを提供していく。

それぞれの青果物が自分の名前で消費

者に認知されれば、更に成功すると信じている。

8 就農を目指す方へのアドバイス

現在、コロナ禍で消費が低迷していた時期もありましたが、その後回復をしており農業は頑張っていれば報われると思います。

農業は、暑さ、寒さに影響されるものですが、施設や露地をうまく活用すれば、良い青果物を出荷できます。

農業は努力次第でいい青ネギ、メロンができるので共に頑張りましょう。

○ 指導機関からのひとこと

就農当初から普及指導員や先輩農家の指導を真剣に学び、きれいな青ネギ、メロンを作っています。農業に対する熱心さは健在で今後地域の担い手として期待できます。

青年農業者組織にも在籍しており、今後、役員理事を担ってほしい存在でもあります。

執筆機関

東予地方局産業振興課地域農業育成室
電話番号 0898-68-7322



ネギの抜き取り作業